第５講　鎌倉時代の文化

1　鎌倉文化

①鎌倉文化の特色

A　公家の伝統文化を受け継ぎつつ，武家に支持された**公武二元(こうぶにげん)文化**である。

B　武家への政権の移行を事実として認めざるをえない状況の中，公家社会では**歴史意識の高まり**が見られ，先例・伝統が重視される。

C　武家の時代を反映した，**素朴(そぼく)で力強い写実的な側面を持つ文化**。

D　禅宗(ぜんしゅう)や宋学〔朱子学〕など，**中国の宋・元からの影響が強い**。

☆元の成立により，南宋からの渡来者が目立つ。

---

②鎌倉新仏教

A　新仏教成立の背景

あ　戦乱・飢饉(ききん)・天災の頻発による社会不安と，末法(まっぽう)到来の無常(むじょう)観。

い　旧仏教の腐敗(ふはい)と世俗化(せぞくか)に伴う，**武士・庶民の救済要求**。

☆学問・祈禱(きとう)中心から，**本格的な信仰**へと変化。

B　**新仏教の特徴**⇒仏教を武士・庶民に開放＝民衆仏教

あ　**易行(いぎょう)**（旧仏教の求める困難な修行を必要としない）

い　**選択(せんちゃく)**（ただ一つの救いの方法を選ぶ〔念仏・題目・坐禅〕）

う　**専修(せんじゅ)**（選びとった方法にひたすら打ち込む）

〈 ***Note*** 〉

C　**浄土宗**（1175年〜）

あ　開　祖　**法然**〔源空〕（美作国出身）

い　特　色　**浄土信仰系（＝念仏「南無阿弥陀仏」），他力本願**

う　教　義　**専修念仏**

☆13世紀初め，旧仏教側から迫害され土佐国（讃岐国）に配流（承元の法難）。

え　著作物　**『選択本願念仏集』**（九条兼実の求めに応じ著したもの）

『一枚起請文』

お　信　者　おもに京都周辺の公家・上級武士・庶民

か　中心寺院　**知恩院（京都）**

D　**浄土真宗〔一向宗〕**（1224年〜）

あ　開　祖　**親鸞**（山城国出身）

い　特　色　**浄土信仰系（＝念仏「南無阿弥陀仏」），他力本願**

う　教　義　一向専修念仏，絶対他力，自然法爾，一念発起，**悪人正機説**，戒律の否定

☆承元の法難に際し，師の法然に連坐して越後国に配流。

え　著作物　**『教行信証』**

☆弟子の**唯円**が**『歎異抄』**を著す。

お　信　者　はじめ関東，のち北陸・東海・近畿の下級武士・農民

か　中心寺院　**東・西本願寺（京都）**

E　**時宗**（1276年〜）

あ　開　祖　**一遍〔遊行上人・捨聖〕**（伊予国出身）

い　特　色　**浄土信仰系（＝念仏「南無阿弥陀仏」），他力本願**

う　教　義　遊行，賦算，**踊念仏**

☆信心・努力の有無に関わりなく，念仏を唱えればすべての人が救われると説く。

え　著作物　死の直前に焼却

☆門弟たちが『一遍上人語録』を編集。

お　信　者　おもに下級武士・農民・都市下層民などで，時衆と呼ばれる。

か　中心寺院　清浄光寺〔遊行寺〕（相模国）

〈***Note***〉

F　**臨済宗**（りんざいしゅう）（1191年〜，宋から導入）

あ　開　　祖　**栄西**（えいさい）（備中国（びっちゅうのくに）出身）

い　特　　色　**禅宗系（＝坐禅），自力開悟**（かいご）

う　教　　義　**坐禅，公案**（こうあん）問答〔禅問答〕

え　著 作 物　**『興禅護国論』**（こうぜんごこくろん）『出家大綱』（しゅっけたいこう）

『喫茶養生記』（きっさようじょうき）（３代将軍源実朝（さねとも）に茶の効用を説く）

お　信　　者　おもに京都・鎌倉の公家・上級武士，地方の上級武士

☆**鎌倉幕府の保護を受ける**。

か　中心寺院　**建仁寺**（けんにんじ）（**京都**，２代将軍頼家の援助）

寿福寺（じゅふくじ）（鎌倉，北条政子の援助）

き　**渡来僧**　**蘭溪道隆**（らんけいどうりゅう）

☆宋より来日後，京から**５代執権時頼**が招き，鎌倉に**建長寺**（けんちょうじ）**を開山**（かいざん）。

無学祖元（むがくそげん）

☆宋から**８代執権時宗**が招き，鎌倉に**円覚寺**（えんがくじ）**を開山**。

G　**曹洞宗**（そうとうしゅう）（1227年〜，宋から導入）

あ　開　　祖　**道元**（どうげん）（山城国出身）

い　特　　色　**禅宗系（＝坐禅），自力開悟**

う　教　　義　**只管打坐**（しかんたざ），身心脱落（しんじん）

え　著 作 物　**『正法眼蔵』**（しょうぼうげんぞう）

☆弟子の懐奘（えじょう）が**『正法眼蔵随聞記』**（ずいもんき）を著す。

お　信　　者　北陸地方を中心とした地方武士・農民

☆あらゆる権力との癒着（ゆちゃく）を否定，山中にこもる。

か　中心寺院　**永平寺（越前国）**（えいへいじ）（えちぜん）

☆鎌倉後期に瑩山紹瑾（けいざんじょうきん）が総持寺（そうじじ）（能登国（のとのくに），現在は横浜市）を開山。

H　**日蓮宗**（にちれんしゅう）**〔法華宗〕**（ほっけしゅう）（1253年〜）

あ　開　　祖　**日蓮**（安房国（あわのくに）出身）

い　特　　色　法華系（＝題目（だいもく）「南無妙法蓮華経（なむみょうほうれんげきょう）」）

う　教　　義　唱題（しょうだい），折伏（しゃくぶく），**法華経至上主義**（しじょう）に基づく他宗批判および政治批判

☆四箇格言（しか）「念仏無間（むげん），禅天魔，真言亡国（ぼうこく），律国賊」。

え　著 作 物　**『立正安国論』**（りっしょうあんこくろん）（**北条時頼に提出**，政治批判の罪で伊豆に配流）

『開目鈔』（かいもくしょう）『観心本尊鈔』（かんしんほんぞんしょう）（ともに佐渡配流後に執筆）

〈 ***Note*** 〉

お　信　　者　おもに鎌倉・京都の下級武士・商工業者

か　中心寺院　**久遠寺（くおんじ）**（**甲斐（かい）国**）

---

③その他宗教

A　**旧仏教の革新**⇒新仏教の興隆（こうりゅう）による刺激・反省

新仏教を批判，**戒律の尊重（そんちょう）**を唱え社会事業も実施。

あ　**法相宗（ほっそうしゅう）**

貞慶（じょうけい）〔**解脱（げだつ）**〕

☆山城国笠置寺（かさぎでら）を中興（ちゅうこう），『興福寺奏状（そうじょう）』を著し法然の専修念仏を攻撃。

い　**華厳宗（けごんしゅう）**

高弁（こうべん）〔**明恵（みょうえ）**〕

☆京都栂尾（とがのお）に**高山寺（こうざんじ）**を開山，『摧邪輪（ざいじゃりん）』を著し法然の専修念仏を攻撃。

う　**律宗**

俊芿（しゅんじょう）

☆渡宋から帰国後，京都に泉涌寺（せんにゅうじ）を開山。天台・真言・禅・律が兼学できる道場とする。

叡尊（えいそん）〔**思円（しえん）**〕

☆奈良の西大寺を再興，自伝『感身学生記（かんじんがくしょうき）』を著す。

☆蒙古襲来に際し異国調伏（ちょうぶく）の祈禱（きとう）を行い，“興正菩薩（こうしょうぼさつ）”と呼ばれる。

忍性（にんしょう）〔**良観（りょうかん）**〕

☆奈良に**北山十八間戸（きたやまじゅうはっけんど）**を建て，らい病〔ハンセン病〕患者を救済。

☆のち鎌倉の極楽寺（ごくらくじ）に入り，慈善（じぜん）事業につとめた。

B　**修験道（しゅげんどう）**の隆盛

原始的山岳信仰と仏教の密教的信仰が融合（ゆうごう）した宗教。天台宗・真言宗の下に組織され発展した。

C　**伊勢神道（しんとう）**

伊勢神宮外宮（げくう）の神官**度会家行（わたらいいえゆき）**が**反本地垂迹説（はんほんじすいじゃくせつ）**〔**神本仏迹説（しんぽんぶつじゃくせつ）**〕を唱え，『神道五部書』を体系化。新たに『**類聚神祇本源（るいじゅうじんぎほんげん）**』を著す。

☆本地垂迹説を唱える山王一実神道（さんのういちじつしんとう）（天台系），両部（りょうぶ）神道（真言系）と対立。

〈 ***Note*** 〉

④建築

A　**和様**（日本的な柔らかな美しさ，平安時代以来の伝統的様式）

蓮華王院本堂〔三十三間堂〕（京都），石山寺多宝塔（近江国）

B　**大仏様**（大陸的な雄大さ・力強さ，南宋の様式を改良）

東大寺南大門（奈良）

☆３度に渡り入宋した東大寺再建の**勧進上人重源**〔俊乗坊〕が，宋人**陳和卿**の協力を得て再建。

浄土寺浄土堂（播磨国）

C　**禅宗様〔唐様〕**（細かな部材の組み合わせによる整然とした美，宋から伝来）

円覚寺舎利殿（鎌倉）

D　**折衷様**（和様に大仏様・禅宗様を取り入れる）

観心寺金堂　（河内国）

E　その他

武士の邸宅として，寝殿造を簡素化した**館**が誕生。

---

⑤彫刻（力強い写実性と躍動感に富む）

鎌倉初期の南都復興に際し，**康慶**を祖とする**慶派の奈良〔南都〕仏師**たちが活躍。

A　仏像彫刻

あ　**東大寺南大門金剛力士像〔阿形像・吽形像〕（運慶・快慶ら）**

い　**東大寺僧形八幡神像　（快慶）**

う　**蓮華王院本堂千手観音坐像　（湛慶）**

え　興福寺金剛力士像　（定慶？）

お　**興福寺天灯鬼・竜灯鬼像　（康弁ら）**

か　高徳院阿弥陀如来像〔鎌倉大仏〕

B　肖像彫刻

あ　**興福寺無著・世親像　（運慶ら）**

い　**六波羅蜜寺空也上人像　（康勝）**⇒京都

う　六波羅蜜寺平清盛像

え　東大寺重源上人像

お　明月院上杉重房像⇒鎌倉

〈 ***Note*** 〉

⑥**絵画**（写実性に富む）

A　絵巻物⇒民衆の教化にも利用

あ　合戦物（かっせんもの）

『後三年合戦絵巻』，『平治物語絵巻』，『**蒙古（もうこ）襲来絵巻**』（肥後国の御家人**竹崎季長（たけざきすえなが）**が描かせる），『**男衾（おぶすま）三郎絵巻**』（東国の地方武士の生活を描く）

い　縁起物

『粉河寺（こかわでら）縁起絵巻』，『**北野天神縁起絵巻**』（菅原道真の伝記），『**石山寺縁起絵巻**』，『**春日権現験記（かすがごんげんげんき）**』（高階隆兼（たかしなたかかね）が描く）

う　伝記物

『法然上人（しょうにん）絵伝』，『**一遍上人絵伝**』（円伊が描く），『西行物語絵巻』，『鑑真和上（わじょう）東征絵伝』

B　肖像画⇒個性に対する関心の高まり

あ　**似絵（にせえ）**（個人の記録的肖像画（しょうぞうが））

『**伝源頼朝像**』『**伝平重盛像**』？（ともに神護寺（じんごじ）が所蔵，**藤原隆信**）

『**後鳥羽上皇像**』　（水無瀬（みなせ）神宮〔摂津国〕が所蔵，**藤原信実（のぶざね）**）

い　肖像画

『親鸞聖人（しょうにん）像〔鏡の御影（ごえい）〕』　（西本願寺が所蔵，専阿弥（せんあみ））

『明恵（みょうえ）上人樹上（じゅじょう）坐禅図』　（高山寺が所蔵，成忍（じょうにん））

う　**頂相（ちんぞう）**（禅僧の肖像画）

C　その他

地獄草紙，餓鬼（がき）草紙，病草紙（やまいのそうし），天狗（てんぐ）草紙など

〈***Note***〉

⑦書道

伏見天皇の皇子**尊円入道親王**(そんえんにゅうどう)〔**尊円法親王**(そんえんほっ)〕が，和様に宋・元の書風を加味した**青蓮院流**(しょうれんいんりゅう)を創始，江戸時代に御家流(おいえりゅう)に発展。代表作『**鷹巣帖**(たかのすじょう)』。

---

⑧工芸

A　武器・武具

あ　**刀剣**

粟田口吉光(あわたぐちよしみつ)〔藤四郎(とうしろう)吉光〕**（京都）**，**岡崎正宗**(まさむね)**（鎌倉）**，**長船長光**(おさふねながみつ)**（備前国）**，郷義弘(ごうのよしひろ)（越中国）など

い　**甲冑**(かっちゅう)

明珍(みょうちん)**（京都）**

B　**陶器**

道元に従い入宋(にっそう)した**加藤景正**(かげまさ)〔藤四郎〕が**瀬戸焼（尾張国）**を創始？

☆その他に常滑(とこなめ)焼（尾張国），信楽(しがらき)焼（近江国），備前(びぜん)焼（備前国）などが隆盛。

〈***Note***〉

⑨文芸

A　和歌集

あ　**新古今和歌集（1205年，後鳥羽上皇）**

1980首を20巻に収める**勅撰（ちょくせん）和歌集**で，**八代集**の最後。体言止め・本歌取りなどの技巧（ぎこうてき）的な表現，観念的な美の境地（きょうち）は**新古今調**とされる。**藤原定家（さだいえ）・藤原家隆（いえたか）**らが編纂。

い　**山家集（さんかしゅう）　（西行（さいぎょう））**

う　**金槐（きんかい）和歌集　（源実朝，万葉調の作風）**

え　小倉（おぐら）百人一首（藤原定家）

☆定家は歌論『近代秀歌（しゅうか）』も著す。

B　説話集

あ　発心集（ほっしんしゅう）　（鴨長明（かものちょうめい））

い　**宇治拾遺（しゅうい）物語**⇒『今昔物語集』の補完

う　十訓抄（じっきんしょう）

え　**古今著聞集（ここんちょもんじゅう）**（橘成季（なりすえ））

お　**沙石集（しゃせきしゅう）　（無住（むじゅう）〔無住一円〕，仏教説話集）**

C　**随筆**

あ　**方丈記（ほうじょうき）　（鴨長明）**

☆鎌倉初期の作，鴨長明は歌論『無名抄（むみょうしょう）』も著す。

い　**徒然草（つれづれぐさ）　（卜部兼好（うらべかねよし）〔兼好（けんこう）法師・吉田兼好（けんこう）？〕）**

☆鎌倉末期～南北朝期の作。

D　紀行文⇒幕府開設に伴う京・鎌倉間の往来

あ　海道記（かいどうき）

い　東関紀行（とうかんきこう）　（源親行（ちかゆき）？）

う　**十六夜日記（いざよいにっき）（阿仏尼（あぶつに））**

☆実子と継子（ままこ）の所領裁判のため，京から鎌倉へ赴（おもむ）く旅日記。

E　日記

あ　**玉葉（ぎょくよう）　（九条兼実（かねざね））**

い　明月記（めいげつき）（藤原定家）

〈***Note***〉

F　**軍記物語⇒和漢混淆文（わかんこんこうぶん）の隆盛**

あ　保元物語

い　平治物語

う　**平家物語**（信濃前司行長（しなののぜんじゆきなが）？）

☆**琵琶法師（びわほうし）**たちにより，**平曲（へいきょく）**として語られる。

え　源平盛衰記（げんぺいせいすいき）

☆平家物語の異本（いほん）。

---

⑩歴史

A　**水鏡（みずかがみ）**　（中山忠親（ただちか）？）

B　**愚管抄（ぐかんしょう）（慈円（じえん）⇒関白九条兼実の弟，前天台座主（さきのてんだいざす））**

☆**末法思想**が全編を貫く**最古の史論書**。歴史を「**道理**」の展開ととらえ，**後鳥羽上皇の討幕計画への警告とした**。

C　百錬抄（ひゃくれんしょう）

☆後冷泉～後深草天皇を編年体で記す歴史書。

D　**吾妻鏡（あづまかがみ）**〔東鑑（あづまかがみ）〕

☆**鎌倉幕府の公式記録**を漢文**日記体**で編年体に記す。執権北条氏の立場を擁護（ようご）する傾向が著しい。

E　**元亨釈書（げんこうしゃくしょ）（虎関師錬（こかんしれん））**

☆元から渡来した一山一寧（いっさんいちねい）の弟子が著した，**わが国初の仏教史書**。

〈 ***Note*** 〉

⑪学問・思想

A　古典研究

あ　**万葉集註釈**〔仙覚抄〕（**仙覚**）

い　**釈日本紀**　　　　　　　　（**卜部兼方**）

☆わが国初の『日本書紀』注釈書。

B　**有職故実**⇒朝廷の儀式・年中行事・先例を研究

あ　世俗浅深秘抄（後鳥羽天皇）

い　**禁秘抄**　　　　（**順徳天皇**）

C　**図書館**

金沢文庫　　　　（**北条〔金沢〕実時**）

☆武蔵国称名寺境内にある，**初の武家による私設図書館**。

D　**宋学〔朱子学〕**の伝来

南宋の**朱熹**が始めたもの。君臣の別を説く**大義名分論**は，後醍醐天皇の討幕運動の理論的支柱となった。

〈 ***Note*** 〉

第５講　文化史確認テスト

1　浄土宗の開祖法然〔源空〕が，九条兼実の求めに応じて著した書とは？

①選択本願念仏集　②興禅護国論　③教行信証　④正法眼蔵

2　悪人正機説を唱えた親鸞の死後，『歎異抄』を著した弟子とは？

①信西　②貞慶〔解脱〕　③唯円　④懐奘

3　臨済宗で用いられる，自力開悟のための禅問答とは？

①念仏　②題目　③公案　④戒律

4　蘭溪道隆を招き，鎌倉に建長寺を開山させた人物とは？

①北条政子　②北条時頼　③北条時宗　④北条貞時

5　忍性〔良観〕により奈良に建てられた，らい病患者の救済施設とは？

①布施屋　②悲田院　③問民苦使　④北山十八間戸

6　『類聚神祇本源』を著して伊勢神道を確立した，外宮の神官とは？

①度会家行　②吉田兼倶　③山崎闇斎　④平田篤胤

7　折衷様〔新和様〕の建築物を一つ選べ。

①蓮華王院本堂〔三十三間堂〕　②東大寺南大門
③円覚寺舎利殿　④観心寺金堂

8　奈良仏師“慶派”の創始者は誰か？

①康慶　②運慶　③快慶　④湛慶

9　『蒙古襲来絵巻』を描かせた，肥後国の御家人とは？

①上杉重房　②男衾三郎　③安達泰盛　④竹崎季長

10　師から弟子に授けられる禅僧の肖像画を何というか？

①装飾経　②似絵　③頂相　④濃絵

11　青蓮院流を創始した尊円入道親王の代表作とは？

①『風信帖』　②『秋萩帖』　③『離洛帖』　④『鷹巣帖』

12　入宋した加藤景正が尾張国で創始したとされる焼物とは？

①瀬戸焼　②常滑焼　③信楽焼　④備前焼

13　歌人である西行の私家集とは？

①詞花集　②金槐和歌集　③山家集　④新葉和歌集

14　関白九条兼実の日記とは？

①蜻蛉日記　②玉葉　③明月記　④十六夜日記

15　初の仏教史書『元亨釈書』を著した僧とは？

①西行　②慈円　③仙覚　④虎関師錬

解答

1	①	2	③	3	③	4	②	5	④
6	①	7	④	8	①	9	④	10	③
11	④	12	①	13	③	14	②	15	④